

「総合的な学習の時間」学習指導案

三次市立八次小学校
教諭 高淵 直哉

1 日 時 平成24年7月17日（火）第3校時

2 学 年 第4学年B組 男子10名 女子11名 計21名

3 単元名 「馬洗川について知ろう」

4 単元について

（1）児童観

本学級の児童は、総合的な学習の時間をととても心待ちにし、「どんな学習をするのかな」「いろいろな活動をしてみたい」等、学習への意欲があり、進んで取り組む児童が多い。しかしながら、「先生、〇〇してもいいですか。」「次に何をすればいいですか。」等、課題解決に向けて自分自身で考え、判断し、主体的に行動することが苦手な児童が多い。

児童は昨年度、単元「ぶどうのひみつを探ろう」において、地域の方から情報を収集し、地域の特産物について学習している。また、社会科の学習では、地域探訪などを通して、町の地理や産業等の特徴について学んでいる。それらの活動が、八次の「ひと・もの・こと」のよさに触れていくきっかけとなり、もっと知りたい、調べてみたいという意欲が徐々に高まってきている。しかし、自分にとって意味や価値のある学習課題を設定したり、他者と協同して課題解決を図るまでにはいたっていない。さらに、言語による分析・まとめ・表現する力は十分に育っていない。

（2）単元観

本単元は、自分たちの住む校区に流れる「馬洗川」と関わりの深い「ひと・もの・こと」に出会い、学習を展開していく。その中で、自ら課題を見付け、主体的に解決していく態度や能力を育てていくとともに、他者と協同して課題を解決しようとする学習活動を重視する中で自己や他者のよさを発見し、今後の自分のくらしや生き方について考えていくことのできる児童を育成することをねらいとしている。

そこで地域の「馬洗川」を学習材として、児童の多くがコンセプトマップに描いた「馬洗川まつり」や「鵜飼い」を取り上げながら身近な自然に興味・関心をもたせ、意欲的に関わろうとする主体的な態度を育てていきたい。そして、馬洗川の河川環境、生活用水、歴史等、自分にとって意味や価値のある課題を設定する力を身に付けさせていく。

児童にとって、日々のくらしを支える大切な生活源である「馬洗川」について、学びを深めていく活動は、意欲的に課題を追究し、今まで以上に地域に愛着を感じ、地域を誇りに思う児童を育成していく内容であると考ええる。また、友だちや地域の方々と関わり合いながら、新たな思いや考え、課題を見付け、探究的な学習過程の中で協同的に学びを深めようとする態度を育てることに適した広がりや深まりが期待できる単元であると考ええる。

(3) 指導観

指導に当たっては、まずコンセプトマップ法を用いて、学習テーマについての児童一人一人の思いや考えを「馬洗川コンセプトマップ」として描かせることから始める。コンセプトマップを作り上げていく過程において、漠然としていた既有知識と疑問点や解決したい課題が徐々に児童自身にとって明確になり、自ら意味や価値のある学習課題を設定していく上で有効な学習活動であると考えている。

そして、探究的な学習過程においては、他者と協同して解決しようとする活動を設定する。具体的には、馬洗川に携わる専門家「国土交通省」との意見交換や交流活動を展開していく。また、「馬洗川」に関わりの深い地域の方々との交流や体験活動を設定し、インタビューや資料の収集・選択方法等、児童が考えた疑問や調べていきたい内容等について課題解決を図ることができるようにしていく。そして、児童が学んだことを新聞や模造紙にまとめたり、劇やHPを活用したりして、保護者や地域の方に広く発信できる機会を設定する。

5 単元目標

- 校区を流れる馬洗川について、課題をもって学習しようとする意欲を高める。
(単元への学習意欲)
- 調べ学習やインタビュー活動を通して得られた情報を適切にまとめる。
(学び方やものの見方)
- 馬洗川のすばらしさを自分たちの地域のじまんとして、伝え方を工夫し、発信する。
(課題解決力)
- 馬洗川に関わりながら生活している方々の生き方に学び、自己のくらしをよりよくしていこうとする態度や地域への愛着を深める。
(自己の生き方)
- ◆ 相手の思いや考えを受け止め、自分の意見を分かりやすく伝えたり、友だちと協力して調べ学習に取り組んだりすることができる。

【キャリア教育（人間関係形成・社会形成能力）】

6 単元の評価規準

単元への学習・意欲	学び方やものの見方	課題解決力	自己の生き方
①「馬洗川」のひみつを探ることに意欲的に取り組んでいる。 ②体験活動において、課題解決に向け、意欲的に活動している。	①「馬洗川」についてのコンセプトマップに自分の思いや考えを適切に描いている。 ②調べ学習において必要な資料を読んだり、疑問点についてインタビューしたりしてさまざまな情報を得ようとしている。	①「馬洗川」のひみつを明らかにするための学習課題をもつことができる。 ②自分の課題に対して、調べ活動や体験活動を通して解決することができる。 ③「馬洗川学習発表会」で聞き手にわかりやすく効果的に表現している。	①ゲストティーチャーから「馬洗川との共生」についての意義や願いについて聞き取り、生き方について認識を深める。 ②学んだことを振り返り、自己の学びの成長を自覚していく。

7 指導と評価の計画（全 30 時間）

次 (時数)	学 習 内 容	評価規準	評価方法	他教科との関連
一 (5)	○馬洗川の概要を知り，気付きや疑問点を整理する。 ○馬洗川のひみつを探る上で明らかにしたい課題を明確にし，学習計画を立てる。	・「馬洗川」についてのコンセプトマップに自分の思いや考えを適切に描いている。 ・「馬洗川」のひみつを明らかにするため学習課題をもつことができる。	コンセプトマップ 行動観察 KJ法	
二 (15)	○調べ学習をする。 ・馬洗川の河川環境 1 水質を調べる。（本時） 水生生物調査 水質の判定 2 植物について調べる。 外来種植物調査 ・川と産業 1 川と人々とのつながりについて知る。 2 鵜飼について知る。 ・馬洗川の水の旅 1 馬洗川と洪水対策 2 灰塚ダムの役割 3 生活用水	・「馬洗川」のひみつを探ることに意欲的に取り組んでいる。 ・自分の課題に対して，調べ活動や体験活動を通して解決することができる。 ・疑問点や新たな課題について，インタビューを通してさまざまな情報を得ようとしている。 ・ゲストティーチャーから，馬洗川との共生についての意義や願いを聞き取り，生き方について認識を深める。	行動観察 ワークシート	国語 インタビューの目的と聞く相手を決め，インタビューする。 道徳 大切な自然 社会科 命とくらしをささえる水
三 (5)	○馬洗川学習発表会を開く。	・保護者や下学年時に馬洗川学習を通して学んだことをわかりやすく伝えている。 ・学んだことを振り返り（コンセプトマップにおける事前・事後学習の比較）を通して自己の学びの成長を自覚する。	行動観察 作品 コンセプトマップ ワークシート	国語 分かったことを整理して分かりやすく書く。 国語 相手に分かりやすく伝える。

8 本時の展開

(1) 本時の目標

- 「馬洗川」の河川環境について、自分たちで調べたことや予想をもとに、水生生物調査やゲストティーチャーへのインタビュー活動を通して疑問点や調べたいことを解決することができる。

- ◆ 地域の専門家との意見交流を通して、他者のよさや生き方を自覚する。

【人間関係形成・社会形成能力】

(2) 準備物

インタビューメモ，ワークシート

(3) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点	評価規準 【キャリア教育】	評価方法
1 前時の学習について想起し、本時の学習課題を確かめる。 「馬洗川」の河川環境を探ろう！	・前時までの学習活動を想起させ、本時の学習の位置づけを確認させる。		
2 水生生物調査をする。	・調査の目的や方法について確認する。 ・グループの友だちと協力して活動するよう、必要に応じて指導する。		
3 インタビュー活動をする。	・インタビュー活動をする上で、前時に自分たちで調べた内容をもとに自分なりに予想した思いや考えをもって、質問することを確認する。 ・質問内容が相手によく分かるように伝えるためのポイントを必要に応じて指導する。 (目線，声の大きさ，マナー，間の取り方など)	疑問点についてインタビューしてさまざまな情報を得ようとしている。 (学び方やものの見方)	行動観察 発言

4 振り返りを行い, 次時の学習を確認する。	・インタビュー活動をして分かったことをワークシートにメモするように声をかける。 ・インタビュー活動を通して新たに疑問に思ったり感じたりしたことは, 積極的に伝えるように指導する。 ・ワークシートに振り返りを書かせる。 ・次時に学習内容を確認することで児童に見通しをもたせる。	ゲストティーチャーの方へのインタビュー活動において, 自分の課題を解決するために疑問点について相手に分かりやすく伝えられている。また, 話を聞いて今まで気付かなかったことに新たに気付き, 考えを深めることができる。 【人間関係形成・社会形成能力】	ワークシート
-------------------------------	--	---	---------------